

主日礼拝

2024年06月23日
午前10時30分

前奏 「すべての救いの泉よ、
我らは汝をあがめまつる」(讃24)
(O.オルソン)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」 (エフェソの信徒への手紙 2:14~16)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれのひとりの主よ、さかえとち
からはた一だ主にあれ、と一こしえまで。
アーメン。

交読詩編 126：1~6

司式者：主がシオンの捕われ人を連れ帰られると聞いて
会衆：わたしたちは夢を見ている人ようになった。
司式者：そのときには、わたしたちの口に笑いが
会衆：舌に喜びの歌が満ちるであろう。
司式者：そのときには、国々も言うであろう
会衆：「主はこの人々に、大きな業を成し遂げられた」と。
司式者：主よ、わたしたちのために
大きな業を成し遂げてください。
会衆：わたしたちは喜び祝うでしょう。
司式者：主よ、ネゲブに川の流れを導くかのように
会衆：わたしたちの捕われ人を連れ帰ってください。
司式者：涙と共に種を蒔く人は
会衆：喜びの歌と共に刈り入れる。
司式者：種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は
束ねた穂を背負い
会衆：喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

賛美 4-2、5節「世にあるかぎりの」

O for a thousand tongues to sing
詞：Charles Wesley, 1707-1788
AZMON
曲：Carl G. Gläser, 1784-1829

2 めぐみのみかみよ、きよきみ名を
5 まことのみことばかたりて主は、
つたうるわれらをみちびきたまえ。
死にたるこころを生かしたまえり。

2 恵みのみ神よ、きよきみ名を
つたうるわれらをみちびきたまえ。
5 まことのみことば語りて主は、
死にたる心を生かしたまえり。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエエレイソン キリエエレイソン
しゅよあわれみを しゅよあわれみを
キリエエレイソン
しゅよあわれ - - イソンを

聖書 ヨハネによる福音書 4:27~42 新約(新共同訳) P170

27ちょうどそのとき、弟子たちが帰って来て、イエスが女の人と話をしておられるのに驚いた。しかし、「何か御用ですか」とか、「何をこの人と話しておられるのですか」と言う者はいなかった。28女は、水がめをそこに置いたまま町に行き、人々に言った。29「さあ、見に来てください。わたしが行ったことをすべて、言い当てた人がいます。もしかしたら、この方がメシアかもしれません。」30人々は町を出て、イエスのもとへやって来た。

31その間に、弟子たちが「ラビ、食事をどうぞ」と勧めると、32イエスは、「わたしにはあなたがたの知らない食べ物がある」と言われた。33弟子たちは、「だれかが食べ物を持って来たのだろうか」と互いに言った。34イエスは言われた。「わたしの食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである。35あなたがたは、『刈り入れまでまだ四か月もある』と言っているではないか。わたしは言うておく。目を上げて畑を見るがよい。色づいて刈り入れを待っている。既に、36刈り入れる人は報酬を受け、永遠の命に至る実を集めている。こうして、種を蒔く人も刈る人も、共に喜びなのである。37そこで、『一人が種を蒔き、別の人刈り入れる』ということわざのとおりになる。38あなたがたが自分では労苦しなかったものを刈り入れるために、わたしはあなたがたを遣わした。他の人々が労苦し、あなたがたはその労苦の実にあずかっている。」

39さて、その町の多くのサマリア人は、「この方が、わたしの行ったことをすべて言い当てました」と証言した女の言葉によって、イエスを信じた。40そこで、このサマリア人たちはイエスのもとにやって来て、自分たちのところにとどまるようにと頼んだ。イエスは、二日間そこに滞在された。41そして、更に多くの人々が、イエスの言葉を聞いて信じた。42彼らは女に言った。「わたしたちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。わたしたちは自分で聞いて、この方が本当に世の救い主であると分かったからです。」

賛美 353 「父・子・聖霊の」

Τριθεῦτος Ἀγίας Θεωρίας
詞：Metrophanes (Smyrna), 7-910

OLD 22ND
曲：Este's Psalter, 1563

1 ち ち・子・せ い れい の ひ とりの か み、
2 せ い なる み す が た まば ゆく て り、
3 こ の 世 の し は い しや お ごり た て ど

め ぐ み に か が や く ひ か り を も て
み つ か い の む れ も た だ ひ れ 伏 す。
そ の さ か え す ら も や み に す ぎ ず。

わ れ ら の こ こ ろ の や み を て ら し、
つ み あ る わ れ ら は い か に す べ き。
地 に あ る わ れ ら は た だ ひ た す ら

主 の ま く や と な し や ど り た ら ま え。
ゆ る し と あ わ れ み も と む る の み。
ち ち・子・せ い れい の か み を た た えん。

- 1 父・子・聖霊の ひとりの神、 2 聖なるみすがた まばゆく照り、
恵みに輝く 光をもて みつかいの群れも ただひれ伏す。
われらの心の 闇を照らし、 罪あるわれらは いかにすべき。
主の幕屋となし 宿りたまえ。 救しとあわれみ 求むるのみ。

- 3 この世の支配者・おごり起てど
その榮えすらも 闇にすぎず。
地にあるわれらは ただひたすら
父・子・聖霊の 神をたたえん。

説教 「自分で聞いて信じる」

賛美 413 「キリストの腕は」

When Christ was lifted from the earth
詞：Brian Wren, 1936-

ST. BOTOLPH
曲：Gordon Slater, 1896-1979

1 キ トス の うで は ま まで。 3 思 想 や 隔 た り 関 わ り な く、
2 東 西 南 北 ひ と つ と なる。 4 世 代 、 民 族 の 壁 を 砕 き、
キ リ ス ト の あ い は す べ て む す ぶ。 人 を そ の ま ま に う け い れ る 主。

5 キ リ ス ト に な ら い 私 た ち も
違 い を よ る こ び う け い れ 合 お う。

- 1 キリストの腕は 地のはてまで。 3 思想や隔たり 関わりなく、
文化も生まれも すべて超えて。 友として招き、愛される主。
- 2 東西南北 ひとつとなる。 4 世代、民族の 壁を砕き、
キリストの愛は すべてむすぶ。 人をそのままに 受け入れる主。
- 5 キリストにならい 私たちも
違いをよるこび 受け入れ合おう。

派遣

- 司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「喜びの歌」 (D.ウッド)

- 司式 塩冶 みはる
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。